

赤穂高等学校全日課程 3つの方針

赤穂高校が大切にしたいこと

- (1) 創立者 福澤泰江の精神
允執厥中（允に厥の中を執れ） ことの中にある誠の真理を追求する
地域に信頼され、地域に貢献する学校
- (2) 自由闊達・文武両道の精神 伸び伸びと全ての課題に逃げずに果敢に取り組む

1 「生徒育成方針」 卒業までに生徒にどのような力をつけるのか

- (1) 自らを高め、進路を切り開き、一生学び続けることのできる底力
 - (ア) 学びの基盤となる知識・技能と基本的能力（言語能力、知識活用能力等）。
 - (イ) 幅広く・バランスの取れた学びを支えるリテラシー（読解力・対話力・科学的思考力、価値を見つけ出す感性・好奇心、探究力）。
- (2) 自他を尊重し、より良い社会を作り上げる力
コミュニケーション力やリーダーシップ、レジリエンス(しなやかな強さ)と、さらに生涯にわたって健やかな生活を送るための体力。
- (3) 豊かな地域の未来を支える力
 - (ア) ビジネスの手法等を学び、地域の大人とともに地域の課題を解決する力。
 - (イ) グローバル力（異文化理解、豊かな語学力等）。
 - (ウ) ICT やビッグデータなどの情報活用能力

2 「教育課程編成・実施方針」 教育活動をどのように展開するか

- (1) 教育実施方針
 - (ア) キャリア教育を通して自己理解を促し、チャレンジ精神や進路実現に必要な資質能力を育む。
 - (イ) 課題の発見から解決に到る主体的・探究的な学びを通し、個性・独創性につながる質の高い学力を育む。
 - (ウ) 体験活動、集団活動を通して、自主・自律の心、社会における自己有用感を高め、社会貢献の精神を育む。
 - (エ) グローバル教育とともにわが国の伝統・文化に対する理解を促し、視野の広い真の国際人・教養人を育成する。
 - (オ) EdTech を積極的に導入し、個に応じた教育と、校外の教育資源を積極的に取り入れ、個々の生徒の能力を最大限引き出す。
- (2) 教育課程編成方針
 - (ア) 1年次
学習の基礎となる科目を重点的に学ぶとともに、「総合的な探究の時間」を中心に、キャリア教育を実施し、自己の理解と目標設定を行う。
 - (イ) 2年次
コース制（普通科の文・理、商業科の会計・情報）により自己の目標実現に向けた科目を重点的に学び、知識・技能の一層の涵養を目指す。
 - (ウ) 3年次
 - ① 選択科目を中心に履修し、自己の目標実現に向けた科目を重点的に学び、学び続けるために必要な、思考力、判断力、表現力等を身につけさせる。
 - ② 課題研究等を通じて、主体性、多様性、協働性を身につけさせる。

3 「生徒募集方針」

本校の使命や教育方針を理解する生徒の入学を広く求めるが、特に入学を希望する生徒に望むこととして

- (1) 学習、クラブ活動、学校行事、何事にも全力を尽くそうとする生徒
- (2) 自分で考え、積極的に行動できる生徒
- (3) 将来の自分に明確な目標を持つ生徒。赤穂高校での学びで、自己の目標を定めようとする生徒